



中部国際医療センター 陽子線治療科 新任のご挨拶



陽子線治療科

山田 滋

SHIGERU Yamada

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
QST病院 診療アドバイザー
国際医療連携課課長（元病院長）
消化器腫瘍課課長・薬剤課課長

【併任】

千葉大学医学部客員教授
日本放射線腫瘍学会評議員
日本大腸肛門病学会評議員

Doctor's Message

医学博士は放射線治療でQST（旧放医研）で取得し、その後は千葉大・千葉県がんセンターで外科医としてがん患者さんの治療に従事していました。1996年には米国HoustonのNASA Johnson Space Centerで宇宙放射線（重粒子線）の研究を1年半行っていました。

千葉大学医学部外科に所属し、膵臓・肝臓・大腸などの消化器癌を中心に数多く手がけた手術の経験や、千葉県がんセンターでは外科医長として手術のみならず化学療法や放射線治療（X線治療）を行っていた経験を生かし、患者さんに最適な医療を検討し提供することができます。

重粒子線治療を世界で最も多く行っている量子科学技術研究開発機構QST病院の元病院長で、現在も診療アドバイザー・消化器腫瘍課長・国際医療連携課長として診療を行っていることから、重粒子線治療に適した患者さんは円滑にQST病院で診療を受けることができます。

1997年から27年消化器癌に対する粒子線治療に従事し、特に膵臓癌・大腸癌再発などの粒子線に関しては、中心的な役割を担い、保険収載に大きく貢献しました。

重粒子線治療で保険適用されている子宮頸がんなどは、当院で診察してQST病院に紹介できます。地域の患者さんや医療機関にとって治療の選択肢が広がることにより、がん治療に少しでも貢献できれば幸いです。

（裏面に続く）

略 歴

年	月	学歴・職歴
1985	3	三重大学医学部 卒業
1985	4	千葉大学医学部第2外科
1992	4	千葉県がんセンター外科医長
1995	3	千葉大学医学部 医学博士号取得
1996	4	米国NASA Johnson Space Center ポスドク
1997	12	放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院 医長
2017	4	放射線医学総合研究所重粒子線治療研究部部長
2020	4	量子科学技術研究開発機構QST病院副院長
2022	4	量子科学技術研究開発機構QST病院院長
2024	7	中部国際医療センター 陽子線治療科 非常勤医師

資 格

日本医学放射線学会放射線治療専門医

日本外科学会認定医

日本消化器外科学会認定医

専 門

放射線治療

消化器外科

放射線生物学

宇宙放射線被ばく医療

緊急被ばく医療

診療は予約制です。受診のための予約申込は 中部国際医療センター 地域連携課

F A X 0574-66-1581 までお願いします

(17時以降のお申し込みは翌営業日の返信となります)

2022年1月、「中部国際医療センター」は新たなスタートを切りました。

〒505-8510 美濃加茂市健康のまち一丁目1番地

